

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	HAPPY を創出するプロジェクトチーム (有限会社石原洋蘭園)
取組	(2) 地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	6人 (うち、女性の人数 5人) (令和 4 年 4 月時点)

1 事業実施方針

「HAPPY を創出するプロジェクト」は、当社の経営理念である「HAPPY を創出する」に由来する。HAPPY とは Happiness Agriculture Produces in Phalaenopsis Yards (胡蝶蘭栽培で農業が生み出す幸福) の大文字部分をとったコンセプトであり、当農園で栽培された胡蝶蘭そのものがお客様のもとの生み出される幸福と、当農園で働く者が胡蝶蘭栽培を通じて享受する幸福を意味する。スタッフの 8 割を女性が占める当農園では、女性のエンパワーメントを実現し、女性が主体的に生き生きと働くことが農園、そして地域の農業の発展につながると考え、このプロジェクトを企画した。以下、2つのプロジェクトとその波及効果を示す。

(1) 女性のエンパワーメントを図る一農園の労働環境をみんなで作り、新規就農者を呼び込む活動

農村特有の女性への意識と女性自身の意識が根強く、女性には補助的な役割しか与えられていないのが現状である。そこで、女性にとって持続可能な農園の労働環境を目指し、課題を挙げ、解決策に取り組む。また、当社の経営課題の一つである市場出荷に対する直売の比率向上を目指し、販路拡大やブランディングに関するノウハウを学び、実践する。当社の胡蝶蘭は品質、特に花もちの良さが市場やリピーター顧客の間で評価されている点、個人の顧客のほとんどが女性である点を考慮すると、女性目線を活かした直売の戦略を取り入れることが効果的であると考えた。女性従業員がマーケティングを学び、直売戦略に積極的に関わることで、自分たちの声や目線を活かした販路拡大につながりを実感することは、女性従業員のモチベーションや自己実現に大きく貢献することが見込まれる。講師には、『東大卒、農家の右腕になる。小さな経営改善ノウハウ 100』の著者佐川友彦氏を迎え、販路拡大を目指したマーケティング、女性にとって持続可能な農園の労働環境について現況をふまえたご指導をいただく。プロジェクトリーダーの石原は佐川氏の講演と著書をもとに、当農園の ICT 化とサステナブルな労働環境への取組、女性の目線を活かした販路拡大を当農園の課題と捉え、2年前から事業改善を進めてきたが、現状に固辞する女性従業員は、その課題解決によって農園にさらに最終的に従業員にどのような利益や恩恵をもたらされるのかを思い描くことができず、さらに転職により就農した石原の事業改善への言葉や思いに説得力がなく、販路拡大や労働環境改善への意識は低い。今回、これまで石原が進めてきた事業改善について佐川氏から女性従業員が直接指導を受けることにより、これまでの事業改善の意義が理解でき、女性が大半を占める当農園でサステナブルな労働環境の整備を自分たちで作る、自分たちで販路を拡大し農園の発展に貢献しようという意識が高まり、それを周囲にアピールすることで女性の新規雇用につながる。これらの取組は農村女性のエンパワーメントであり、弊社にとっては先にふれた会社の経営理念「HAPPY を創出する」を労働者側から形にしたものになる。二つ目の課題は当社のみならず地域の農業の課題でもある雇用と承継の問題である。女性が生き生きと働き自己実現を図るといふ姿勢はこの課題解決の一端になると考えた。そこで、「女性雇用促進リーフレット」を制作し、女性が活躍できる場の提供を積極的に地域にアピールし女性就農希望者の獲得を図りたい。講師には、当農園のロゴマークをデザインし直売リーフレットの制作にかかわってきたパオリ陽子氏を迎え、新規女性雇用促進リーフレット編集の指導を受け、リーフレット制作と地域への配布につなげる。

(2) 市場や花き販売業界にはまだ定着していない新商品開発と販売プロジェクト

数品種の胡蝶蘭を一鉢に寄せ植えの手法で植える商品を商品化したいと考えているが、花き販売業界ではまだ未定着の分野である。試作品を SNS で発信したところ、「可愛い」「美しい」と反響があり、女性顧客へのアピール度も見込まれる。世にあまり出ていない斬新なアイデアだからこそ、先駆者として商品化する価値が大きい。商品開発にあたっては、すでに商品化している先進農園、宇都宮市の蘭のすずひろを視察し栽培者からの指導を受ける。また、こちらの農園は市場出荷から直売への大幅な転換を図ったということを知り、そのノウハウについても学びたい。

(3) 上記プロジェクトの波及効果

上記のプロジェクトにより、弊社の女性従業員の意識改革、農業における女性の地位向上と活躍も見込まれる。現状では、当農園の女性スタッフは現場のトップダウンの指示により農作業と直売を行っており、その能力はあっても自らの工夫や発案で動くことはほとんどない。原因は、女性の地域農業への貢献度にも関わらず地域独特の「女性は表には出ず補助的役割でよい」というバイアスであると考えられる。女性スタッフの技術力や胡蝶蘭の特性を生かす力が高いにも関わらず、自ら考え動くことへの躊躇は、各自の潜在能力の発揮やひいては当農園の経営にもマイナスであると考えられる。その打破のために必要なのは教育とそこで学んだことの実践と得られる成果である。上記のプロジェクトを通じ、女性スタッフ一人一人が自ら考え、アイデアを積極的に出し、農園の経営の一端を担っていることを実感することは、自信や有意義なライフプランにも結びつくのではないかと考える。さらに、生産性や利益率低下、そこから生まれる後継者不足により衰退の一途をたどる地域の農業と女性活用とに一石を投じるものと確信している。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

1) 構成員

「HAPPY を創出するプロジェクトチーム」の構成員は、当農園で生産部門以外すべてを管理運営する者をリーダーに次の 3 名の女性スタッフおよび次期代表取締役男性 1 名、将来的に承継意思のある女性 1 名計 6 名からなる。

- プロジェクトリーダー（次期代表取締役・立案・会計・事務担当/50 代女性）
- プロジェクトサブリーダー（農作業・販売担当/50 代女性）
- 構成員（農作業担当/60 代女性）
- 構成員（農作業・販売担当/50 代女性）
- 構成員（次期代表取締役・農作業担当/50 代男性）
- 構成員（社外者・次々期承継者/20 代女性）

(2) 関係機関との連携状況

プロジェクトを進めるにあたり、次の関係機関と連携する。

- 経営コンサルタント（マーケティング講義、指導助言担当）
- デザイナー（新規女性雇用促進リーフレット編集デザインおよび助言担当）
- 先進農園主（寄せ植え技術講習の指導担当）
- 山梨県中北農務事務所農業農村支援課（農村女性の社会参画支援）

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の (1) の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者（女性 1 名以上を含む）の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) なし		
(今後の取組) 1) 新規女性雇用促進リーフレットの作成 2) 高校からインターンシップ受入れ協力 3) 山梨県中北農務事務所農業農村支援課との「農村女性の社会参画支援」に関する情報交換および連携	1) 年間 100 部作成 2) 年間 5 名 (目標) 3) 通年随時	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) なし		
(今後の取組) 1) 山梨県中北農務事務所農業農村支援課との「農村女性の社会参画支援」に関する情報交換および連携 2) 山梨県中北農務事務所農業農村支援課での勉強会や研修会参加を通じた関係性・ネットワークの構築 3) SNS による当農園の女性農業者の活動や活躍の発信	1) 通年随時 2) 通年随時 3) 毎月 1 回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1) 育児や介護による休暇への柔軟な対応	1) 随時	
(今後の取組)		

・上記の継続 1) 女性視点を生かした新商品「ミックス植え胡蝶蘭」の開発と商品化 2) 上記商品の近隣道の駅への売り込み 3) 山梨県中北農務事務所農業農村支援課との「農村女性の社会参画支援」に関する情報交換および連携	1) 商品開発と試験販売 (目標 2022 年 12 月まで) 2) 試験販売 (目標 2023 年 2 月まで) 3) 通年随時	
--	---	--

(注) 農業委員等に出選された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	潜在能力や農園への貢献度が高いにも関わらず、胡蝶蘭栽培と販売を通じて自己実現を図る意識が低い。
②	マーケティング、ブランディングの知識不足
③	女性の声を活かした就農環境改善

【課題解決のための補助事業 (概要)】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	先進胡蝶蘭栽培農園の視察による商品開発への積極的に関与する姿勢の構築。
①	新規女性雇用促進リーフレット編集への積極的な関与
①	新商品開発のための先進胡蝶蘭栽培農園の視察と意見交換。
①	「農村女性の社会参画支援」への連携協力と研修への参加。
②	セミナーの開催 (対面1回・オンライン1回)
③	セミナーの開催 (対面1回・オンライン1回)

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	商品開発から販売までを OODA サイクル（観察→状況判断・方向づけ→意思決定→行動）で回す。
①	これまでの活動を新規女性雇用促進リーフレット再版の内容に活かす。
②	販路拡大に向けた販売戦略を立て実行する。 市場出荷に対する年間直売率を20%にする。
③	セミナーで学んだことを活かし、農園内の課題を解決し女性の就農環境を向上させる。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年6月	対象者：グループメンバー4人 講師との新規女性雇用促進リーフレット編集会議（対面）編集開始 必要に応じオンラインによる編集会議	謝金 30,311円	謝金規定に基づき算出
②	2022年7月	対象者：グループメンバー4人 講師によるマーケティングと事業計画作成に関する対面講義と指導	謝金 165,800円	謝金規定に基づき算出
①	2022年8月	対象者：グループメンバー4人 講師との新規女性雇用促進リーフレットの完成と配布開始	役務費 50,000円 印刷製本費 2,780円	
②	2022年9月	対象者：グループメンバー4人 講師によるマーケティングと事業計画作成に関する対オンライン講義と指導	謝金 50,000円	謝金規定に基づき算出
①	2022年10月	対象者：グループメンバー5人 先進農園の視察 交通費	旅費 17,158円	
①	2022年11月	対象者：グループメンバー2人 新商品試作品の完成・直売でのテストマーケティング、アンケート調査		
②	2022年11月	対象者：グループメンバー4人 講師による就農環境改善に関する対オンライン対面講義と指導	謝金 50,000円	謝金規定に基づき算出
①	2022年12月	対象者：グループメンバー3人 新商品試作品の完成・直売での販売開始		
②	2023年1月	対象者：グループメンバー4人 講師による就農環境改善に関する対面講義と指導	謝金 165,800円	謝金規定に基づき算出

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 3人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の女性とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。